

～ 益虫ってご存じですか？ ～

梅雨が明け、猛暑になると涼しさを求めてか、勝手に家に入ってくる虫たち。中には益虫（えきちゅう）と呼ばれるものもいます。

今回はその1つ、蜘蛛のお話しです。※ムシ嫌いの方、ゴメンナサイ…

<ゴキブリハンター “アシダカ軍曹” >

そもそも益虫とは、何かしらの利益をもたらす虫のことをいいます。例えば、植物を食べる害虫を食べてくれる虫のことを益虫といったり、不快害虫を捕食してくれる虫を指します。

その中でも“アシダカグモ”は家に現れるクモの中でも最大級のサイズを誇ります。

不気味な外見とは裏腹に、ゴキブリなどの害虫の食べてくれる益虫として有名です。



ゴキブリを退治してくれることに敬意を表す人からは、「アシダカ軍曹」というあだ名で呼ばれることもある、天然ゴキブリハンターです。

ちなみに人間への健康被害はなく、クモの巣を張らないので、放置しても問題ありません。

気持ち悪いという場合には、家から追い出すようにすればいいだけです。

とはいえ、足が長く10センチ近くある体長ですので、不気味には感じますが…。

<アシダカグモの生態>

○ 行動時間：夜間（夜行性）

○ 住処：屋内

○ エサ：虫を捕まえて食べる

○ 特徴：クモの巣を張らず、自ら獲物に近寄る「徘徊性」

アシダカグモと同じようにゴキブリを食べる虫として、「ムカデ」がいます。ムカデは、人間が噛まれると「激痛」や「かゆみ」が発生する害虫として有名です。そのため、家の中や庭でムカデを見つけた場合、駆除したいと考えます。



一方、「アシダカグモ」は、人間に害があるような毒は持っていません。

さらに自ら人間を襲ってくることも少ないと言われています。

ただし、人間がアシダカグモを駆除しようとしたり、触ろうとしたりすると、防衛から噛みつくことがあるそうです。

この場合、毒に侵されることはないものの、噛まれてしまった場所が腫れることがあるので注意が必要です。

見かけたときは“見ぬふり”というのがいいのかもしれませんがね。

天井や部屋の隅にあるクモの巣は家の印象を悪くさせる原因になりますが、アシダカグモは前述の通り、糸で巣をつくることはありません。

アシダカグモは動き回ってエサを見つけ、捕食する徘徊性のクモだからです。

このことから家の中でクモの巣を見つけた場合は、アシダカグモではなく別の種類のクモによる可能性が高いです。

不快に感じる人は、対象のクモを見つけ出す必要があるでしょう。

巣をつくるクモとして、華奢(きゃしゃ)な脚が特徴の「イエユウレイグモ」や小柄な「ヒラタグモ」が挙げられます。

<かなり綺麗好きな“アシダカ軍曹!?”>

アシダカグモに限ったことではありませんが、クモの消化液には強い殺菌効果があります。

クモがエサを食べるときは“消化液を相手に注入して、溶かしながら体液を吸う”という方法です。

そのため、捕食したあとの食べカスが病原菌になる心配があまりありません。

またクモは、この消化液を使って自分の脚を手入れしています。移動範囲も壁や天井なので、人間の食べ物を踏みつけることもありません。

そのためアシダカグモがいることによって衛生面に不安が出る可能性は、かなり低いと言っていいと思います。

アシダカグモはエサを求めて家に侵入してきます。

つまりアシダカグモが家にいるということは、家にエサとなるゴキブリやネズミが存在が高いということになります。

食料がないと分かれば家から姿を消してくれるので、エサになる害虫がいなくなればアシダカグモも姿を消します。

アシダカグモに似ている種類のクモで、「コアシダカグモ」というものがあります。右の写真のクモです。

コアシダカグモは、基本的に屋外の森林で見かける種類ですが、まれに家の中でも発見されます。

特徴としては、アシダカグモよりひとまわり小さく、全体的に黄色い体色です。

おしりに黄色い三角の模様があるのが特徴です。

種類こそ違いますが、どちらもゴキブリや蛾を捕食するなど、ほとんど同じだと思って問題ありません。

つまり益虫に変わりはないので、家に出たのがコアシダカグモだったとしても放置して大丈夫ということになります。



**「売・貸物件
募集中です！」**

ネットに掲載して反響アップが図れます！
掲載料や面倒な手続きは必要ありません。
「ご依頼」を頂くだけで結構です。

<https://maruhiro2103.co.jp>

私たちは、土地や建物の仲介のみではなく、
声かけ頂ければ、何でもお役に立ちます！

～土地・建物のよろず屋～

 **マルヒロ不動産(株)**

名古屋市中村区横前町109番地

TEL: 052-413-4628

